

TOSHIBA

東芝IHクッキングヒーター設置説明書

日本国内専用
Use only in Japan

ビルトインタイプ(単相200V)

形 名 BHP-V732S/V632S

※ BHP-V732SR/V632SR (※レンジフード連動機能付)

安全上のご注意

- 設置の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が*1傷害を負ったり*2 物的損害の発生が想定される内容を示します。

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を必要としない、けが・やけど・感電などをさします。

*2 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味	
 禁 止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で指示します。	
 指 示	●は、強制(必ずすること)を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で指示します。	

- 設置完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。
- この「設置説明書」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

 警告	 設置は、お買い上げの販売店または専門業者に依頼する ● ご自分で設置され不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
	 設置は、設置説明書に従い確実にを行う ● 設置に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。
	 設置は、機器の重量に十分耐える所に確実にを行う ● 耐重量不足や取り付けが不完全な場合、機器の落下や転倒によりけがの原因になります。
	 電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」、及び設置説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。また、電圧は製品の定格電圧に合わせる ● 電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
	 電源は200V-30Aの専用回路と漏電しゃ断器を設置する また、電源プラグ(250V-30A)に合った専用コンセントを単独で使用する ● 電源回路内容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
	 アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規制等に従って必ず「法的有資格者」が行う ● アースが不完全な場合には、感電の原因になることがあります。
	 設置部品は、必ず付属品または、指定の部品を使用する ● 異なった部品を使用すると、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。
	 絶対に分解・修理・改造は行わない ● 火災、けが、感電の原因になります。

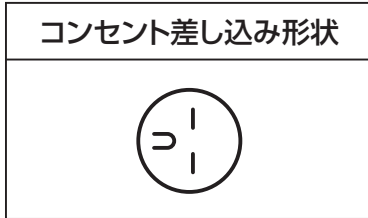
 注意	 トッププレートに衝撃を加えない ●ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。 ※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたり、トッププレートの端に物を当てたりしないでください。
	 試験運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部にふれない ●やけどの恐れがあります。
	 ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う ●熱硬化性樹脂高圧化粧板 (JIS K 6903) またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

設置される方への お 願 い	●この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定の方法で設置してください。 ●設置完了後に、試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。 ●この説明書は、必ずお客様にお渡しください。 ●梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。 ●ガス事業者に連絡しないで、ガス工作物 (ガス配管、ガスメーター、ガス栓など) を無断で撤去することは、法令により禁止されています。 事前に、ガス事業者へ連絡してください。 ●設置説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについては責任を負いかねます。
---------------------------	--

1 電気工事および接地工事

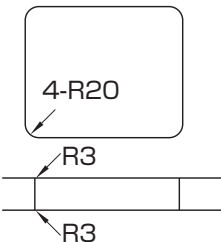
- 電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じてください。
- 電源は30A専用回路 (ブレーカ付) を設けてください。電源は必ず单相3線式200Vを使用してください。
3相電源の1相での使用はしないでください。故障の原因です。
万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。
●推奨漏電しゃ断器: 定格電流30A、感度電流30mA
- 電源コンセント: 埋込コンセント……………单相3線式・2極・接地極付・250V・30A
(推奨形番 東芝ライテック DC2582E 松下電工 WF3630B)
 - 電源コンセント取付位置は、次項の「システムキッチンとの関係寸法図」を参照してください。
 - 電源コードの直付は絶対にしないでください。
- アース工事を必ず行ってください。(D種接地工事)
 - 上記コンセントの一極接地用に配線してください。

〈ご注意〉アースは、ほかの電気器具と共用したり、ガス管、水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。



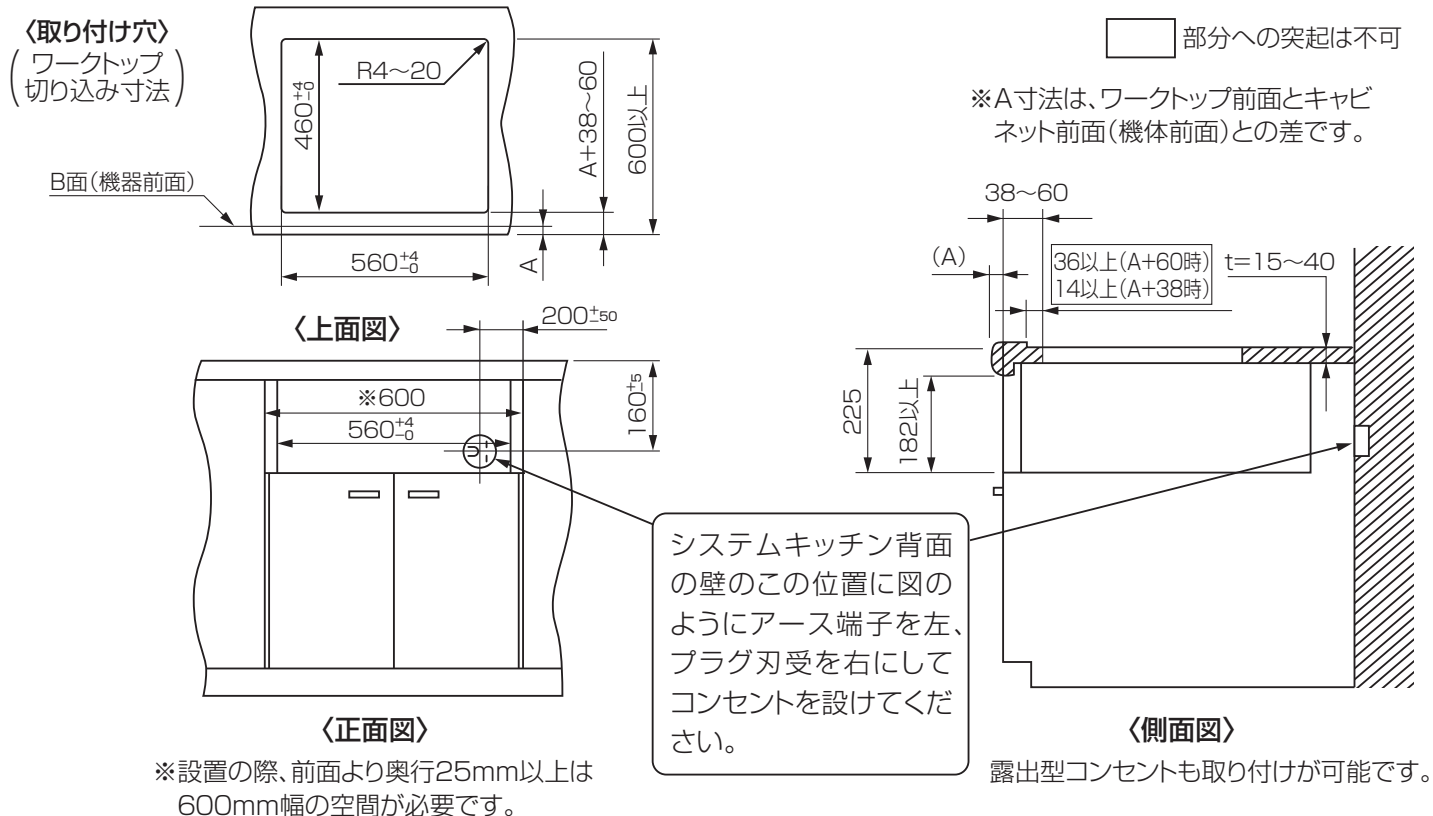
電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

2 人造大理石ワークトップへ取り付けされる際のお願い

■人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック (ひび) の入ることがあります。右記の要領で加工し施工してください。 (注) 人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。	開口部の加工  ●穴あけはルーターを使用してください。 ●4コーナーのRは極力大きくしてください。 ●切断面の上下エッジは、3Rのアールをつけてください。または #240 のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。
--	--

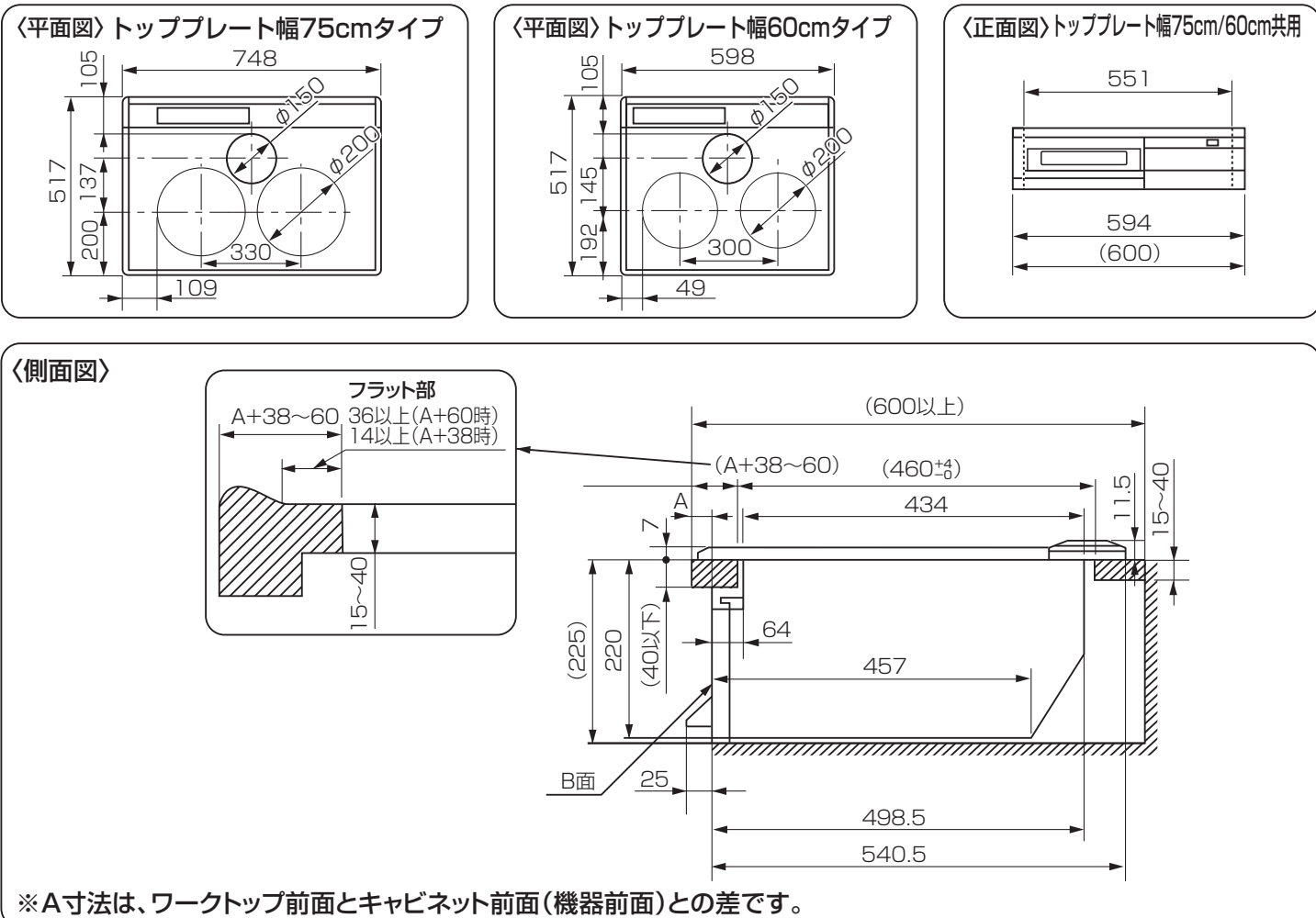
3 システムキッチンとの関係寸法図

単位:mm



4 製品外形寸法図 ()内はシステムキッチン寸法

単位:mm



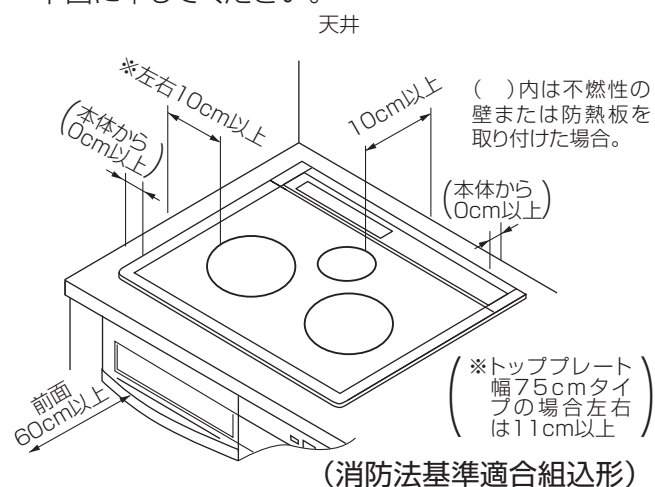
5 設置場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■設置を始める前に確認してください。

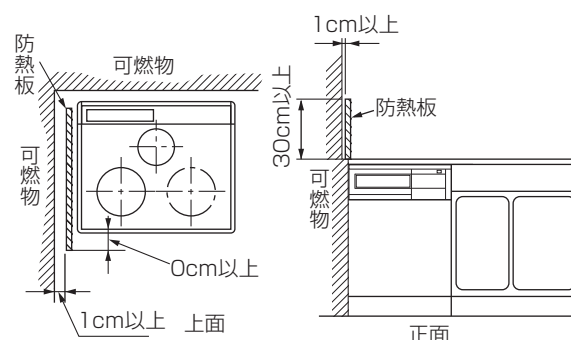
- 器具の大きさに合った**丈夫で水平な台**の上に設置してください。
- 器具は火災予防上、可燃物(土壁・棚)との間を側面10cm以上、背面10cm以上、上面100cm以上離してください。
また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

- 周囲に**可燃性の壁・たな等**がある場合や、**可燃性の壁にステンレス板**を貼り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。



- 設置をするときは、所轄の消防署に確認してください。

- 可燃性の壁より、左記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。



- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属(メタルラスなど)とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。(電気設備の技術基準の解釈について第5章電気使用場所の施設第1節屋内の施設第167条で危害なきよう設置することが定められています。)
- グリル排気口**をステンレスの水切りカバー(水返しカバー)などで**ふさがない**でください。
- 本体をタイルやモルタルで、**塗り込まない**ようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- 幕板上部とワークトップとのすき間は、ふさがないでください。
排気部分となっていますので製品の故障の原因となります。
- 湿気のすくない**ところに設置してください。
- 十分換気**のできるところに、設置してください。
- 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など**燃えやすいものは、置かない**ようにしてください。
- ワークトップは、熱硬化性樹脂高圧化粧板(JIS K 6903)または、これと同等以上の材料を**お使い**ください。
- ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますので、**お使いにならない**でください。

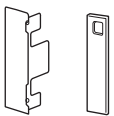
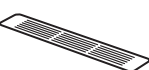
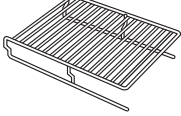
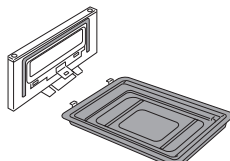
〈ご注意〉この機器を設置される台所が、建築基準法に定める**【内装制限を受ける調理室】**に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。

- 設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

6 設置する

設置前の準備

■包装材料を取り外し、付属品を確認する

サイド飾り	排気カバー	幕板	焼網	天ぷら専用鍋	グリル扉・受け皿
左用 右用 	1個 	1個 	1個 	1個 	

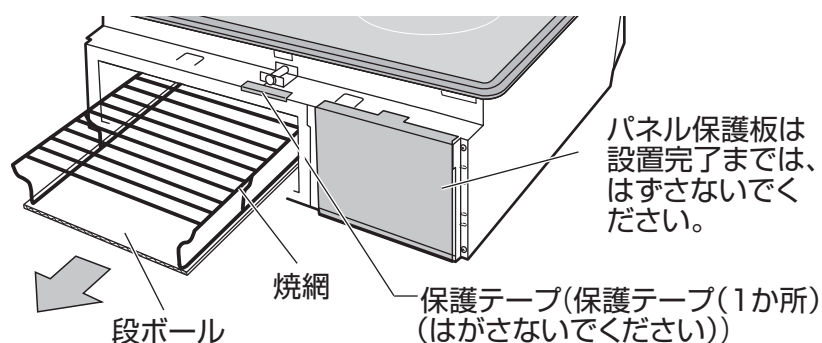
- 取扱説明書、保証書、ご使用ガイドがあることを確認してください。
- 操作部止めテープをはがし、焼網の包装材を取り除いてください。

■焼網を取り外す

グリル内の包装材を取り除き、焼網を取り出す。

- 設置前には、グリル扉・受け皿を取り付けないでください。

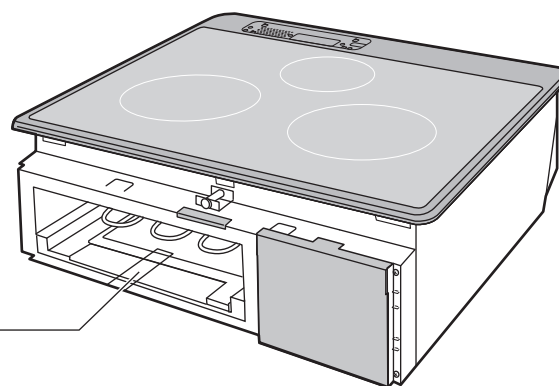
（取り付けると、設置時にグリル扉が出たり、前固定金具の固定時にグリル扉の表面を傷付けることがあります。）



- レール固定用テープは、はがさないでください。

（設置時にレールが出てくる場合があります、ワークトップに当たり傷が付いたり故障の原因となります。）

レール固定用のテープは
はがさないでください



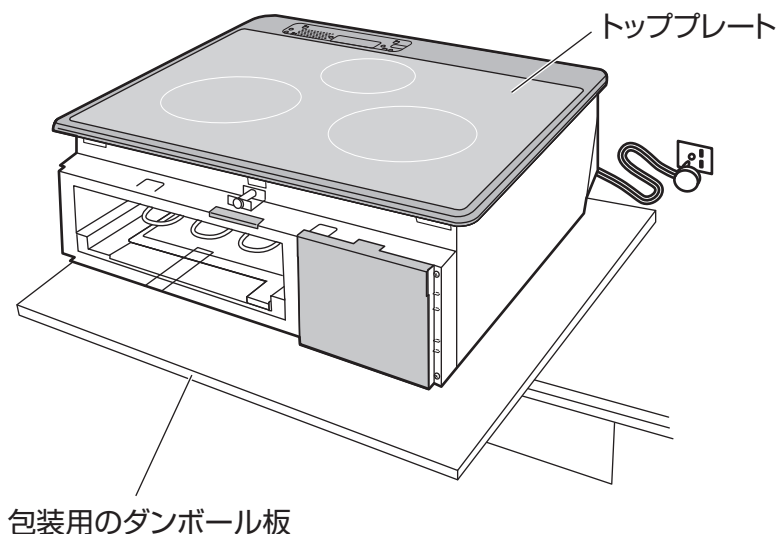
本体の設置

1 電源プラグを差し込む

- ワークトップに傷をつけないように包装用のダンボール板を敷いてください。

お願い

- トッププレートの端部に衝撃を加えないでください。
- トッププレートの角を持たないでください。

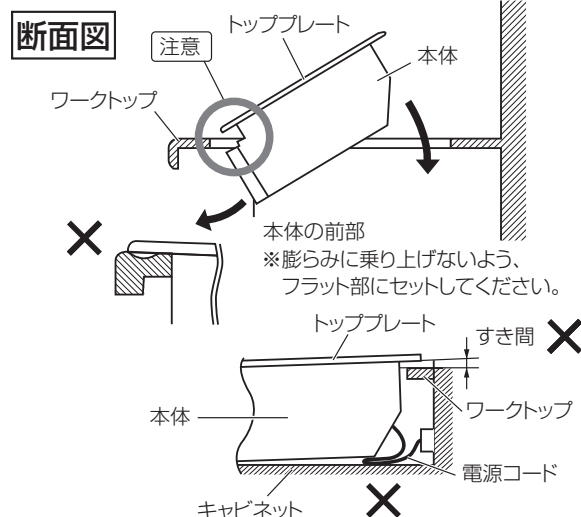


2 ワークトップに 本体の前面を挿入して から全体をはめ込む

- はめ込み時は、前面のスイッチや前板をワークトップに当てないでください。
(スイッチの破損や前板に傷が付く原因になります。)
- トッププレート下面とワークトップのすき間が、前後左右で均一であることを確認してください。
(本体挿入時に、電源コードが本体底面とキャビネットの間に挟まると、本体が浮いてすき間がバラつきます。)

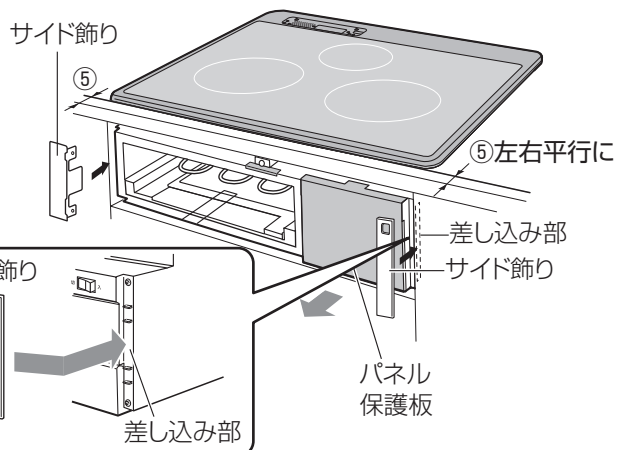
設置時のご注意

本体を持ち上げる際に、トッププレートの角を持ったりワークトップにぶつけたりしないように注意してください。

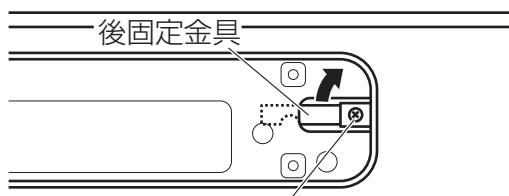


3 サイド飾り(左用、右用)を 取り付け本体の位置を調整する

- ①パネル保護板を取りはずす。
- ②前板側面の差し込み部に、サイド飾り(左用、右用)を取り付ける。
- ③サイド飾りとキャビネットの左右側面とのすき間が均一になるように、本体の位置を調整する。
- ④キャビネットの扉面に本体の前面が合うように、本体の位置を調整する。
- ⑤トッププレート部分が、キッチンの天板に対して平行になるように設置する。

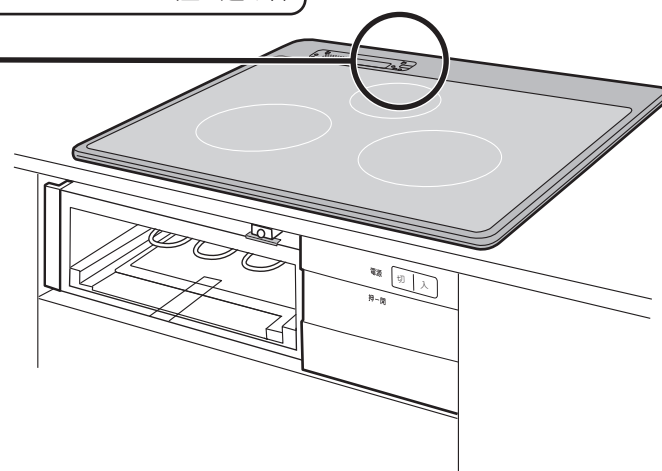


4 後固定金具を固定する



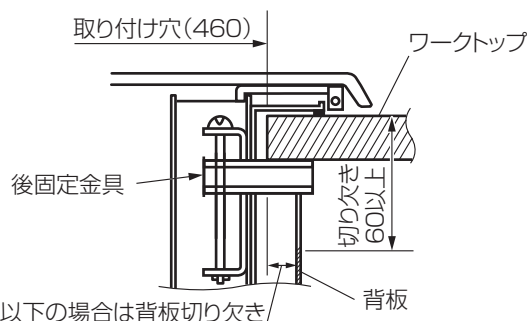
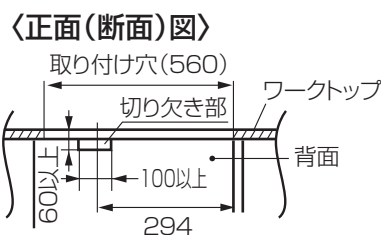
ねじを右に回してワークトップに確実に固定する

(後固定金具が上に移動してワークトップに
押し付けられシール性が確保されます)



キャビネットの後方に背板がある場合

- 背板位置がキャビネットの取り付け穴から40mm以下の場合、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。



5 前固定金具(1か所)を固定し、パネル部をスライドする

①前固定金具のねじを締め付けてワークトップの裏面に固定する。

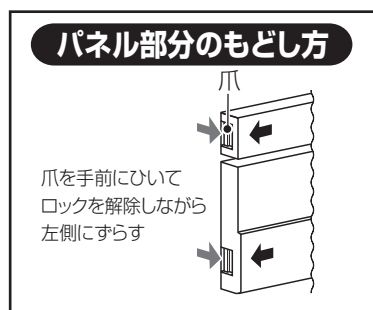
●固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにしてください。

※先の長い(約70mm以上)ドライバーをお使いください。

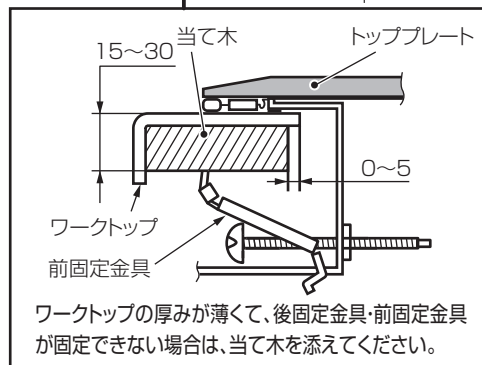
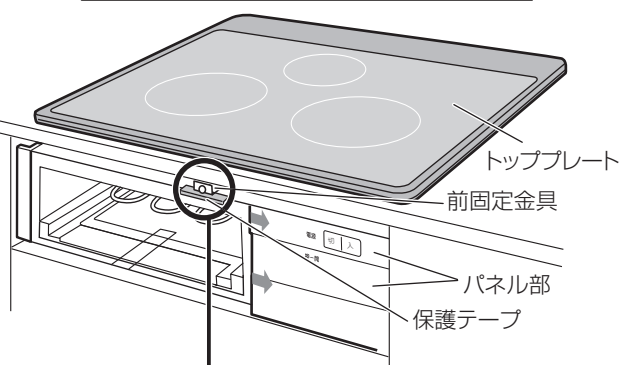
●固定後は、トッププレートを押して動かないことを確認してください。

②パネル部を右側へスライドさせ、カチッと音が生じてロックされるまで移動する(上、下2箇所)。

●パネル部を左へ戻すには図のようにします。



レール固定用テープ、保護テープは前固定金具の固定が終わってから、はがしてください。



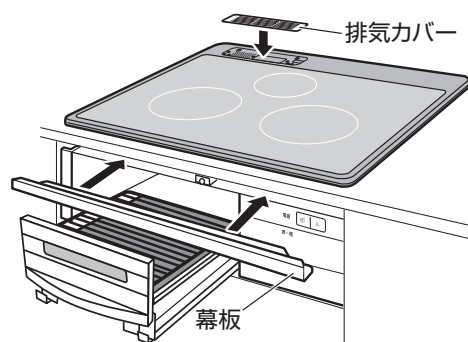
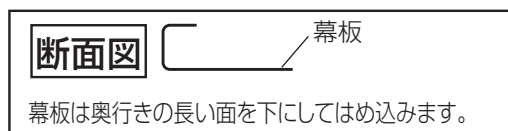
7 設置完了後

付属品およびグリル扉・受け皿、焼網の取り付け

①排気カバーを取り付ける。

②幕板を取り付ける。

(幕板上部とワークトップとのすき間はふさがらないでください。)



③グリル扉・受け皿、焼網を取り付ける。

●受け皿に扉を取り付け、レールの奥に引っかけ、斜め上からはめ込んでください。

※天ぷら専用鍋、取扱説明書、ご使用ガイド、保証書は必ずお客様にお渡しください。

下部フィラー(別売品)を必要とする場合…
設置高さ270mm対応用

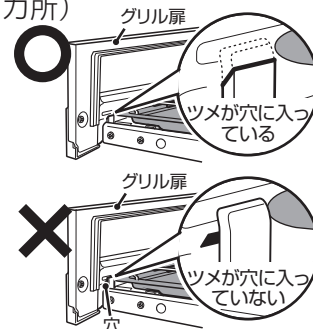
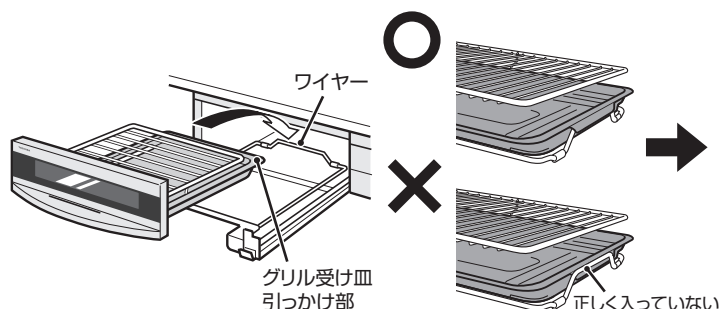
	高さ調節用フィラー(ブラック)	高さ調節用フィラー(シルバー)
品番	BHP-608HF	BHP-608HFS
希望小売価格	3,900円	6,000円

※取り付けかたは、各々の説明書をご覧ください。

グリル扉の取り付けかた

●受け皿の奥の引っ掛け部をワイヤーにはめます。

●スライドレールのツメにグリル扉の穴をはめこんで取り付けます(左右2カ所)



8 設置完了後の確認

■ 設置終了後、次の手順で確認し、チェック欄に○印をしてください。完了後トッププレートに保護ダンボールを置いてください。

	確 認 項 目	チェック
取付 付属品 の 材 料 の 取 扱	パネル保護板を取りはずす。	
	排気カバーの取り付け。	
	グリル受け皿、焼網グリル扉の取り付け。	
	取扱説明書、設置説明書、ご使用ガイド、天ぷら専用鍋を包装箱から取り出し、お客様にお渡す。	
動作	グリル扉が、スムーズに奥まで完全に閉まることを確認する。	
外 観	・トッププレートは浮いていないか。・トッププレートは汚れていないか。・外観にキズは付いていないか。	
電 気 工 事	設置	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
	①ブレーカーを“入”にする。 ②電源電圧が200Vであることを確認する。 ③電源スイッチを“入”にする。（「入」キーを1秒以上押す）→電源ランプが点灯する。	
電 気 試 験	④各ヒーターの動作をチェックをする。 ●左ヒーターのチェック 鉄系のなべがお手元にある場合 ・水を入れたなべを載せて、左IHの「切／スタート」キーを2回を押す。 →トッププレート手前左側の火力表示ランプ6個が点灯し、水が加熱されるのを確認してください。 ・確認後は「切／スタート」キーを押して「切」の状態にしてください。 なべがない場合 ・左IHの「切／スタート」キーを2回を押す。 →トッププレート手前左側の火力表示ランプ6個が点滅する。 （火力表示の点滅は、なべがなく通電されていない状態を示しており、正常です） ・確認後は「切／スタート」キーを押して「切」の状態にしてください。 （・付属の天ぷら専用鍋は使わないでください。水を入れると錆びます。） （・使用した場合は乾いた布で水気を十分に拭き取ってください。）	
	●右ヒーターのチェック 上記左ヒーターと同様に右IHの「切／スタート」キーで操作して確認してください。	
	●中央ヒーターのチェック ・操作パネル部を押して手前に出し、上記左ヒーターと同様に中央IHの「切／スタート」キーを操作して確認してください。（火力表示ランプは、なべを載せた場合は5個まで点灯、なべがない場合は5個まで点滅します） ・確認後は「切／スタート」キーを押して「切」の状態にしてください。	
	●グリルのチェック ・操作パネル部を押して手前に出し「手動オープン」キーを押して「切／スタート」キーを押す。温度設定200などを点灯させる。約1分でグリルの中が熱くなる。 確認後は「切」の状態にしてください。	

■ レンジフード連動型のレンジフードの確認項目:レンジフード単体にて正常動作確認後、下記試験を実施してください。

	確 認 項 目	チェック
電 気 試 験	①電源スイッチを「入」にする。（「入」キーを1秒以上押す） ②右IHの「切／スタート」キーを2回押して、レンジフードが自動的に「中」で運転することを確認する。 ③操作パネルの  キーを押す毎に「中」→「強」→「弱」と、風量が切り換わることを確認する。 ④  キーを一度押す毎に、点灯、消灯が切り換わることを確認する。 ⑤レンジフード側の停止ボタンを押して、レンジフードが止まることを確認する。 （右IHの「切／スタート」キーを押して、切ると、レンジフードは約3分間回り続ける） ⑥他の「中央ヒーター、グリル、左ヒーター」についても、①～⑤の操作を行いレンジフードが正常動作することを確認する。 ⑦右IHの「切／スタート」キーを2回押して、レンジフードを自動的に「中」で運転させた後、電源スイッチを「切」にし、レンジフードが約3分後に停止することを確認する。	

■ 総消費電力の切り換えについて（5800W ⇄ 4800W）

この製品は総消費電力を5800W（工場出荷時）から4800Wに切り換えることができます。
電気容量などにより、最大消費電力を少なくして、ご使用できます。

●切り換え方法

- ①電源スイッチを「入」にしてパネル操作部グリル「＜」キーを2回押す。
- ②続いてパネル操作部のグリル「切／スタート」キーと中央IH「④」キーを同時に1回押す。
ピーと鳴り、トッププレートに P 5.8 と表示されます。

③中央IH「④」キーを押して5800Wから4800Wに切り換えます、表示は P 4.8 となります。

④電源スイッチを「切」にします。再度①②の操作により設定内容を確認し電源スイッチを「切」にします。

※①と②の操作は2秒以内に行ってください。

※詳細については販売店、施工店にご相談ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社 リビング機器事業部

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）